

平成26年度一般会計決算認定反対討論の要旨 東よしき議員

- 子ども医療費の無料化の拡大、図書館建設事業基金積立の復活、宮田導水路上部整備事業の見直しなどが進められる方向は大いに歓迎したいが、
- 布袋駅付近鉄道高架化整備事業に伴う市道439号線の物件調査、用地取得、物件補償などが執行された。江南岩倉線まで道路幅を現行の倍以上12メートルに拡幅する工事。さらに布袋駅東駅前広場へのアクセス道路市道東部280号線、あるいは425号線など事業が計画されている。

布袋本町通り線は区画整理と一体の工事として計画が発表されたときからこのような広い道路幅は必要ないと見直しを求めてきたが一度計画がきまると事業が進められた。布袋駅東側の道路計画、肝心のまちづくりが行われないままの道路作りだけにならないのか。財政状況からも、適切な事業見直しが必要である。

その他に

- 消費税が5%から8%へ3%もの引き上げが実施され、中小零細企業に深刻な影響が出ていること
- マイナンバー制度の関係で、対応するシステム改修、特定個人情報保護評価書が作成されたが、第3者委員会である特定個人情報保護委員会の承認を受けて評価書は公表できるときめられているにもかかわらず、行われないまま公表された。評価書としての体をなしていない。
- 尾張北部地域ごみ焼却処理広域化第1小ブロック会議負担金5,91万4,000円が今年度も執行されなかった。一方で江南市だけで地元同意を得るために広域ごみ処理施設対策室が設置され2年が終了したが、目的が達成されなかった。このような状態をいつまで続けるのか。平成25年2月以前の状態にもどして、本来の事業主体であるブロック会議として事業を進めるべきだ。
- 勤労者関係団体補助事業についての委員会での審査で、交付規則にあるように、申請があったときは、申請に係る書類の審査及び必要に応じて実態調査等を行い、補助事業等の目的、内容および金額の算定が適正か否か、予算に定めるところに違反しないかどうか等を調査し、認められれば交付決定することになっているが、こうした実務が規則どおり行われず例年どおりとして処理されていることがわかった。

主に以上のような理由から反対する。